

大学院医学薬学教育部（薬学系）三つのポリシー（平成 29 年度以前入学者）

理念・目標

医療の高度化に伴い、幅広い知識に支えられた高い専門性と人間尊重の精神を兼ね備えた医療関係者が、社会から求められている。これを受け医学薬学教育部(薬学領域)では、基礎薬学から臨床薬学にわたる最新の薬学教育を行い、想像力と先進性を兼ね備えた研究者や薬学教育者、ならびに高度に専門的な業務にたずさわる技術者や薬剤師を育成することを目標とする。

1. 学位授与方針（ディプロマポリシー）

薬科学専攻

博士前期課程にあつては、原則 2 年在学して研究指導を受け、薬科学専攻で開講されている授業科目 30 単位以上を修得した上で、修士論文の審査及び最終試験に合格することが、学位授与の要件です。修了判定では、幅広い学識を備え、創薬分野における研究能力と薬学の専門性を必要とする分野を担う能力を身につけているかを基準とします。

博士後期課程にあつては、原則 3 年在学して必要な研究指導を受け、薬科学専攻で開講されている必修科目 18 単位、本専攻の選択科目から 2 単位以上を修得し、合計 20 単位以上修得した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格することが、学位授与の要件です。修了判定では、研究者として自立して活動できる能力、あるいは高度な薬学の専門性を必要とする分野を担う能力を身につけているかを基準とします。

薬学専攻

原則 4 年在学して必要な研究指導を受け、薬学専攻で開講されている必修科目 22 単位、本専攻の選択科目から 4 単位以上、さらに薬科学専攻博士前期課程の選択科目から 4 単位以上を修得し、合計 30 単位以上修得した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格することが、学位授与の要件です。修了判定では、研究者として自立して活動できる能力、あるいは高度な薬学の専門性を必要とする分野を担う能力を身につけているかを基準とします。

2. 教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

薬科学専攻

博士前期課程薬科学専攻においては、創薬科学等をはじめとする薬学関連領域の知識と技術を応用して活躍できる研究者・技術者の養成に重点をおいた教育を行い、分子設計創薬学、薬効解析学、予防保健薬学、和漢薬学及び臨床薬学の基礎項目を修得させます。

博士後期課程薬科学専攻においては、薬学の先端的分野や生命科学分野で研究者・技術者として自立的に活躍できる人材の養成に重点をおいた教育を行い、ゲノミクス、プロテオミクス、コンビナトリアルケミストリー、プロセスケミストリー、バイオスクリーニングなどの領域横断的な最先端

創薬に関する知識と技術を修得させます。さらに、これからの薬学分野の多様化に対応できる能力を養成するために、ゲノム情報、遺伝子発現と細胞機能、生体分子の構造と相互作用、和漢医薬学の基礎科学、有機化合物の合成法から、化学物質の人体への影響、化学物質（医薬品）の代謝、和漢薬を含む医薬品の相互作用の解析等に至る知識や技術を修得させる教育課程を編成しています。

薬学専攻

博士課程薬学専攻では、臨床的課題あるいは疾患に関連する研究領域を中心とし、高度な専門的知識や優れた研究能力を有する薬剤師・研究者等の養成に重点をおいた教育を行います。すなわち、薬学領域の教育者や研究者、治験業務を指導できる人材、チーム医療の立場から高度な薬剤師業務を実践できる高度職業人、医薬連携の実践や健康医療科学の開拓などを担う高度な専門家など、社会的要請の高い多様な人材を養成するための教育課程を編成しています。

また、これからの薬学分野の多様化に対応できる能力を養成するために、ゲノム情報、遺伝子発現と細胞機能、生体分子の構造と相互作用、和漢医薬学の基礎科学、有機化合物の合成法から、化学物質の人体への影響、化学物質（医薬品）の代謝、和漢薬を含む医薬品の相互作用の解析等に至る知識や技術を修得させる教育課程も編成しています。

なお、学部教育だけでは研究能力を醸成させるのに不十分であるため、博士前期課程薬科学専攻で開講されている授業科目も修得させることとしています。

3. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

薬科学専攻

博士前期課程薬科学専攻では、薬学の医学との協同体制を基盤とし、さらに和漢薬を通じて東西医療科学を総合した特色ある教育研究を指向する。幅広い知識に支えられた高い専門性と、人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を有する研究者や技術者を育成することを目的とする。そこで、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者及び技術者を志し、有機化学、生化学、薬理学、和漢薬学などの薬学系分野に興味を持つ人を求める。

博士後期課程薬科学専攻では、主に基礎薬学分野において研究者として自立して研究活動を行うことができる能力、その他の高度に専門的な業務に必要とされる能力を醸成する教育研究を指向する。進展する自然科学諸分野の知識や技術を常に取り入れ、最先端の研究遂行能力を有する、研究者や薬学教育者を育成することを目的とする。そこで、従前の薬学系学問分野のみならず、最新の学際領域における先端的分野で、広く活躍したい人を求める。

薬学専攻

博士課程薬学専攻では、主に臨床薬学分野において研究者として自立して研究活動を行うことができる能力、その他の高度に専門的な業務に必要とされる能力を醸成する教育研究を指向する。基礎薬学から臨床薬学にわたる成果や進歩を常に取り入れ、薬物療法の高度化に伴う分野で広く活躍できる薬剤師、ならびに研究者や薬学教育者を育成することを目的とする。そこで、基礎から臨床レベルに至る薬学系諸分野で広く活躍したい人を求める。